

## 平成30年度 山王保育所事業報告

### 1. 概要

#### ①運営報告

- 大阪市の待機児童解消施策が進み、近隣区内に新設保育園、こども園、小規模保育所が連立する中、区を超えて当園への入園者数が減少してきました。大阪市内でも待機児童数に偏りがあり、西成区では益々少子化が進むと考えられます。この現状から園児の定員数や職員数等運営の見直しが必要と考えます。
- 今年度より70人定員から90人定員に変更になり、公定価格単価が下がり運営が非常に厳しくなりました。
- 年度途中で正職1名、契約職員1名、パート3名（内給食調理補助2名）、年度末に正職4名、派遣職員2名の退職がありました。逆に、年度途中の入園児童も多く保育士の確保に苦慮しました。職員定着の為に分かりやすい保育の在り方「一日の保育の流れ」のOJTを何度も繰り返し行い職員への浸透を目指します。
- ホームページを開設しました。日々の保育や子供の姿を写真とともに掲載することで、わかりやすいと保護者に喜んでいただいています。また、園見学に来られた方も、「ホームページを見ました」と事前に調べてから来られる方が多く保育の可視化に繋がりました。
- 防犯カメラの設置を行いました。保護者、地域の方々にも賛同いただき警察署とも連携しています。

②定員            90名（定数外8名）            合計98名（平成31年3月）

③事業日数       291日（日曜、祝日及び12月29日より1月3日は休園とします）

④開所時間       平日7：30～18：30       土曜日7：30～18：30

⑤保育時間       標準時間保育 7：30～18：30       短時間保育 8：00～16：00

#### ⑥職員数

園長 1名、主任 1名 保育士 17名（うち派遣会社保育士4名・パート保育士2名）  
看護師 1名 栄養士 1名 調理員 2名（うちパート調理員1名）  
嘱託医（内科、歯科）各1名（内科年4回、歯科年1回 健診）

### 2. 保育運営

#### ①保育理念

- 子どもは子ども同士認め合い、助け合い、励まし合い、学び合う子どもの社会の中で成長することが望ましいと考えます。
- 私たちは、子どもの個性・人格を尊重し、自立を促し、日々の生活の中で家族とともにその成長・

発達の援助を行います。

## ②保育方針

- 社会福祉法人白鳩会保育メソッド・一日の保育に流れを中心に、子どもたちが主体的に生き生きと生活・活動できる環境を整え、自己を十分発揮し人として『生きる力』を育む。
- 在園児および地域の子育て支援を行う。
- 愛着関係を確立させ、子どもとの継続的な信頼関係を築く。

## ③保育目標

- 乳児期の愛着関係を基盤とし、認知能力（記憶、計算、判定、言語理解など）と非認知能力（意欲、協調性、粘り強さ、忍耐力、計画性、思いやり、自己肯定感）を育む。

## ④クラスの編成及び職員配置

0歳児	さくらんぼ組	12名	保育士6名（内4時間パート保育士4名）
1歳児	いちご組	11名	保育士2名
2歳児	もも組	18名	保育士3名
3歳児	くり組	18名	保育士2名（うち障がい児加配保育士1名）
4歳児	みかん組	20名	保育士2名（うち障がい児加配保育士1名）
5歳児	かき組	19名	保育士2名（うち障がい児加配保育士1名）

合計園児数 98名 保育士17名

H30年	4月 88名	5月 89名	6月 88名	7月 89名	8月 90名	9月 94名
	10月 98名	11月 98名	12月 98名	1月 98名	2月 98名	3月 98名
H30年	4月 88名 → H31年 3月 98名					

障がい児保育担当保育士 3名（正職2名・契約職員1名）  
フリー保育士 1名

## ⑤保育内容

- 乳児クラスの緩やかな担当制保育が定着し、保育内容にもよりますが、一度にクラス全体で移動することや同じ活動をするのが減りました。また、日々のじゃれつき遊びで担任との愛着関係も育まれ、落ち着いて保育者の話を聞こうとする姿が多くなりました。それが幼児にも繋がってきています。

給食時の少人数食では一人一人の発達をとらえながら援助できることで、離乳食の進め方や咀嚼力、スプーン・食器の持ち方、姿勢等丁寧に関わることができその子の成長が実感できるようになりました。

- 幼児クラスは「日課のある保育」を行い見通しをもって1日主体的に過ごす事を目標に過ごしましたが、指示待ちの子どもが多く、「自分で考えて動き出すこと」の難しさを実感しました。保育者のアプローチの仕方で子どもの姿は変わってくるのは必至ですが、それぞれの保育者が言葉を

かけるタイミングや、一人一人に如何に考えるヒントとなる言葉をかけるか、保育者自身が考えて言葉をかけることが大切です。客観的に自分の保育を見直せるようにビデオ研修を行い課題に取り組んでいきます。

- 食育では年間食育計画に基づいて、野菜の栽培や収穫、クッキングを行い楽しみながら食への興味関心を高めることができました。特に今年度行った魚の解体では、「命をいただいている」ということが実感できたようで「いただきます」「ごちそうさま」の意味が子どもの心に届きました。
- 毎朝の意味ある運動の時間は幼児全員園庭に出て行っていました。幼児クラスの人数が多くなり狭くなってきました。担任同士で話し合い時間を分けたり、また、内容の見直しを行いながら従来通りの目的をもって思い切り身体を動かす環境を整え脳内ストレスの発散に努めました。
- 本年度も全国人権擁護委員連合会のリーフレット「種をまこう」を題材に人権教育を行いました。また、日々の生活の中で、相手の気持ちに気づいたり、受け入れたりする事の経験を大切にしてきました。特に年長児はトラブルになったとき子ども同士で話し合い考え保育者の見守りの中解決できるようにしました。

#### ⑥家庭との連携

家庭訪問（4月）全体懇談会・保育参加（5月）保育を楽しむ日（11月）、クラス懇談会（5月・11月）個人懇談会（2月）・給食味見会（5月・11月）

- 保育参加が定着し、クラス全体の子どもたちと一緒に楽しく過ごして下さる姿が多くあり、保護者も保育内容が実感でき、共通理解が深まりました。今年度は特に、「一口食べ」を丁寧に説明したことで、家でも同じように一口分を別皿に取り分けて食べるようにして下さる家庭が出てきました。
- 「早寝・早起き・朝ごはん・朝ウンチ」をスローガンに掲げ6年が経ちました。朝ごはんを食べてくる子供は多くなり、朝の意味ある運動にも元気に参加できています。しかし、夜型の生活が見直されず、早寝・早起きが難しいです。これからもお便りや懇談等、事あるごとに何故大切なのかを伝えていきます。
- 3歳児クラスで無断欠席からネグレクトが疑われ、当園から西成区役所支援室に連絡しこども相談センターに一時保護されました。約2か月で園に戻ってきましたがその後は要保護児童対策地域協議会と連携し家庭支援を行っています。
- 発達が気になる子どもの保護者と話し合い1件発達相談に繋げました。支援が必要な家庭とは毎月懇談を行い保護者の意向をくみ取り個別計画を立て家庭と同じ目的をもって保育に取り組みました。また、療育施設と連携し本児を中心としたネットワークを作りました。

#### ⑦人材育成

- 法人の理念・方針に沿った個々の職員の個別研修計画を立て、園内外の研修に参加しました。
- 今年度から始まった新保育所保育指針、全体的な計画の勉強会を行いました。月案を立てる時に保育内容が「幼児期までに育てほしい10の姿」の何に繋がっていくかを考え活動内容の横に記号で示し、活動の意味、目的を意識できるようにしました。
- 今年度から、主任・副主任を中心とした組織づくりを行いました。自分の役割を十分理解して

中心になって動くことが難しかったです。園長が意図を十分に伝え共に動くという体制が未熟だったからだと感じます。来年度は一緒に動く中で共に感じ、主任・副主任が遠慮なく保育士間をまとめられるように、互いに意見の出しやすい環境づくりを行っていきます。

- 本年度はスマイルサポーターの資格を1名取得しました。

#### ⑧地域の実態に対応した事業

地域子育て支援事業

- 毎月4回保育所体験（園庭、ホール開放）を行いました。

地域活動

- 天下茶屋保育所、天下茶屋幼稚園、若草保育園と幼保交流を行いました。（年3回）
- 図書ボランティアによる読み聞かせ会に参加しました。（年2回）
- 地域の老人会で和太鼓の披露を行いました。
- 隣の老人施設みどり苑と交流会を行いました。
- 西成警察と連携し年長児が警察官の制服を着て地域の方々に防犯を呼びかけました。
- 西成区クリーンキャンペーンに参加しました。

小学校との接続

- 金塚祭り（金塚小学校主催）に招待いただき、小学生との交流体験ができました。
- 金塚小学校、長橋小学校の先生に保育参観に来ていただき意見交換会を行いました。
- 就学に向け金塚小学校、天下茶屋小学校を見学に行きました。

#### ⑨苦情処理

- 第三者委員会の設置について、園のガイドブックや掲示または、入園説明会、全体懇談会にて保護者に周知しました。また、意見箱の設置やアンケート年3回実施しました。  
転園や卒園のご意見やご相談についても園長が相談の窓口として受け付けています。  
本年度の保護者からの苦情、意見箱への投書は0件でした。

#### ⑩リスクマネジメント

- 今年度の地震、台風は身につまされるものがありました。備蓄品の見直しを行いリストに沿って物品を揃えました。また、災害時の対応を職員と確認し実際に備えました。保護者には避難場所や連絡方法等対応について一人ひとりに伝え、災害時の緊急連絡票に変更がないか一緒に見直し、変更があった場合は速やかに保育園に届けるようお願いしました。
- 熱中症予防対策に気温湿度を1日3回測定し、熱中症指数を調べ屋外での活動を制限しました。また、水分補給も時間を決め行い、全園児が補給できているか確認し記録を取りました。
- 危機管理委員を中心に危機管理マニュアルを見直し、新たに作り直しました。今年度は出来上がったマニュアルを一つひとつ全職員で勉強することができませんでした。来年度には毎月テーマを決め全職員が共通理解できるよう勉強会を行っていきます。
- 保健指導・健康管理計画に基づきナースが中心となり毎月職員会議の場でリスク予防の研修を行

いました。

- 年間計画に沿って、地震、火災、津波の災害訓練を行いました。
- 食物アレルギーマニュアルの見直しを行い、給食・おやつ提供の仕方を職員皆で確認しました。  
また、土曜日の給食献立からアレルギー食材を除きました。
- S I D S、溺水の救命や救急車要請等職員間で役割を決め訓練を行いました。
- 防犯訓練（不審者侵入）（2月西成警察署）総合災害訓練（火災・消火・地震）（6月・西成消防署）  
防災センター（火災、地震体験11月）の体験学習

#### ⑪その他

- 防犯カメラの取り付けを行いました。
- ホームページの開設を行いました。
- 空調機が故障して修理を行いました。